

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S4 #24 Top 10 Japanese Holidays: Hinamatsuri/Doll Festival

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

24

KANJI

1. ひな祭り
2. 3月3日は何の日でしょう？ そう、「ひな祭り」ですね。
3. ひな祭りの時期は、昔の日本で使っていたカレンダーに当てはめると、丁度桃の花が咲く季節なので別名を「桃の節句」ともいいます。日本特有のこの行事、平安時代の装束を着た「ひな人形」を飾ったり、「ひなあられ」という 加熱して膨らませた米にピンクや白、黄色の糖蜜をまぶしたお菓子を食べたりして、女の子の健やかな成長を祈るお祭りです。「ひな人形」や「ひなあられ」の「ひな」は「小さいもの」という意味です。
4. ひな祭りの歴史は古く、1000年以上前に行なわれていた、紙や土で作られた小さな人形に衣を着せて遊ぶ「ひひな（ひいな）遊び」が、現在のひな祭りの原型になったと言われています。この人形は次第に、人の身代わりとしてその身体に災難を移し、川へ流すことで無病息災を祈る流しびなという風習になりました。その後、時を経て、現在のようにその家の娘の幸せや成長を見守る「守り雛」として、室内に飾って観賞するのが一般的になりました。
5. ひな人形は「男雛（おびな）」と「女雛（めびな）」と呼ばれる男女の一对の人形ですが、豪華なものでは、召使いの女性・護衛役の家来など数体の人形や、作り物のお膳、桜・橘の造花も一緒に「毛氈（もうせん）」という赤い敷物を敷いた階段状の台に飾られます。
6. ひな人形は、通常二月中頃から飾られ、3月3日を過ぎたらすぐにしまわなければなりません。特に片付けに関しては厳格で、いつまでも飾っておくと「娘の婚期が遅れる、あるいは結婚できなくなる」などと言われています。もちろんこれは迷信ですが、いつまでも人形を出しっぱなしにしておくと人形の着物が虫に食われてしまったり、カビが生えたりするので、それを戒めるための忠告だったようです。

KANA

CONT'D OVER

1. ひなまつり
2. さんがつみっかはなんのひでしょう？ そう、「ひなまつり」ですね。
3. ひなまつりのじきは、むかしのにほんでつかっていたカレンダーにあてはめると、ちょうどもものはながさくきせつなのでべつめいを「もものせつ」ともいいます。にほんとくゆうのこのぎょうじ、へいあんじだいのしょうぞくをきた「ひなにんぎょう」をかざったり、「ひなあれ」というかねつしてふくらませたこめにピンクやしろ、きいろのとうみつをまぶしたおかしをたべたりして、おんなのこのすこやかなせいちょうをいのるおまつりです。「ひなにんぎょう」や「ひなあれ」の「ひな」は「ちいさいもの」といういみです。
4. ひなまつりのれきしはふるく、せんねんいじょうまえにおこなわれていた、かみやつちでつくられたちいさなにんぎょうにころもをきせてあそぶ「ひひな（ひいな）あそび」が、げんざいのひなまつりのげんけいになったといわれています。このにんぎょうはしだいに、ひとのみがわりとしてそのからだにさいなんをうつし、かわへながすことでむびょうそくさいをいのるながしびなというふうしゅうになりました。そののち、ときをへて、げんざいのようにそのいえのむすめのしあわせやせいちょうをみまもる「まもりびな」として、しつないにかざってかんしょうするのがいっぱんてきになりました。
5. ひなにんぎょうは「おびな」と「めびな」とよばれるだんじょのいつつのにんぎょうですが、ごうかなものでは、めしつかいのじょせい・ごえいやくのけらいなどすうたいのにんぎょうや、つくりもののおぜん、さくら・たちばなのぞうかもいっしょに「もうせん」というあかいしきものをしいたかいだんじょのだいにかざられます。

CONT'D OVER

6. ひなにんぎょうは、つうじょうにがつなかごろからかざられ、さんがつみっかをすぎたらすぐにしまわなければなりません。とくにかたづけにかんしてはげんかくで、いつまでもかざっておくと「むすめのこんきがおくれる、あるいはけっこんできなくなる」などといわれています。もちろんこれはめいしんですが、いつまでもにんぎょうをだしっぱなしにしておくとにんぎょうのきものがむしにくわれてしまったり、カビがはえたりするので、それをいましめるためのちゅうこくだったようです。

ROMANIZATION

1. Hinamatsuri
2. San-gatsu mikka wa nan no nichi deshō? Sō, "hinamatsuri" desu ne.
3. Hinamatsuri no jiki wa, mukashi no Nihon de tsukatte ita karendā ni atehameru to, chōdo momo no hana ga saku kisetsu na node betsumei o "momo no sekku" to mo iimasu. Nihon tokuyū no kono gyōji, Heian jidai no shōzoku o kita "hinaningyō" o kazattari, "hinārare" to iu kanetsu shite fukuramasete kome ni pinku ya shiro, kiiri no tōmitsu o mabushita okashi o tabetari shite, on'na no ko no sukoyaka na seichō o inoru o-matsuri desu. "Hinaningyō" ya "hinārare" no "hina" wa "chiisai mono" to iu imi desu.
4. Hinamatsuri no rekishi wa furuku, sen-nen ijō mae ni okonawarete ita, kami ya tsuchi de tsukurareta chiisa na ningyō ni koromo o kisete asobu "hihina (hiina) asobi" ga, genzai no hinamatsuri no genkei ni natta to iwarete imasu. Kono ningyō wa shidai ni, hito no migawari to shite sono karada ni sainan o utsushi, kawa e nagasu koto de mubyōsokusai o inoru nagashibina to iu fūshū ni narimashita. Sono nochi, toki o hete, genzai no yō ni sono ie no musume no shiawase ya seichō o mimamoru "mamoribina" to shite, shitsunai ni kazatte kanshō suru no ga ippanteki ni narimashita.
5. Hina ningyō wa "obina" to "mebina" to yobareru danjo no ittsumi no ningyō desu ga, gōka na mono de wa, meshitsukai no josei. Goei yaku no kerai nado sūtai no ningyō ya, tsukuri mono no ozen, sakura. tachibana no zōka mo isshoni "mōsen" to iu akai shikimono o shiita kaidanjō no dai ni kazararemasu.

CONT'D OVER

6. Hinanigyō wa, tsūjō ni-gatsu nakagoro kara kazarare, san-gatsu mikka o sugitara sugu ni shimawanakereba narimasen. Toku ni katazuke ni kanshite wa genkaku de, itsu made mo kazatte oku to "musume no konki ga okureru, aruiwa kekkon dekinaku naru" nado to iwarete imasu. Mochiron kore wa meishin desu ga, itsu made mo ningyō o dashippanashi ni shite oku to ningyō no kimono ga mushi ni kuwarete shimattari, kabi ga haetari suru node, sore o imashimeru tame no chūkoku datta yō desu.

ENGLISH

1. Hinamatsuri/Doll Festival
2. What happens on the third of March? That's right; it's "Hinamatsuri," or the "Doll Festival."
3. If you match it to the old Japanese calendar, "Hinamatsuri" takes place just at the season when the peach trees are blooming. This event, unique to Japan, is a festival that prays for the healthy growth of little girls by displaying "hina dolls" dressed in Heian period costume, eating sweets called "hina arare," which are made by heating grains of rice until they puff up, and then coating them with pink, white, and yellow molasses. The "hina" of "hina dolls" and "hina arare" means "little."
4. The history of "Hinamatsuri" goes back a long way. It's said that the "hihina" (or "hiina") play, involving making little dolls out of paper or earth and dressing them in clothes, which went on over a thousand years ago, was the prototype of the modern-day "Hinamatsuri." Gradually, this evolved into a custom called "Nagashibina," which was to pray for sound health, in which these dolls were used as substitutes for real people, had people's bad luck transferred to them, and were sent floating down the river. After this, with the passing of time, it became typical for the dolls to be displayed and admired indoors, as they are today, as "mamori-hina," which watch over the happiness and growth of the daughter of the house.
5. "Hina" dolls come in pairs, including a male, called an "obina" ("Emperor doll"), and a female, called a "mebina" ("Empress doll"). The really fancy dolls come with a number of female servant dolls and a retinue of guard dolls, model "o-zen" ("four-legged trays for festive food"), artificial cherry blossoms, and tachibana flowers, and are displayed on a tiered stand spread with a red felt carpet called a "mōsen."

CONT'D OVER

6. "Hina" dolls are usually displayed from around the middle of February but must be taken down as soon as the third of March has passed. The rules concerning the putting away of the dolls are particularly strict; it's said that if the dolls are left out for however long one likes, then the daughter's marriage will be delayed or it's possible that she won't be able to get married at all. Of course, this is just a superstition, but if the dolls are left on display, their kimono will get moth eaten or they will get moldy, so this rule was apparently to warn people.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
婚期	こんき	konki	marriageable age, chance of marriage
橘	たちばな	tachibana	tachibana, inedible citrus
戒める	いましめる	imashimeru	to admonish, to warn, to forbid
無病息災	むびょうそくさい	mubyōsokusai	in sound health
装束	しょうぞく	shōzoku	costume, attire
加熱する	かねつする	kanetsu suru	to heat
迷信	めいしん	mēshin	superstition
造花	ぞうか	zōka	artificial flower

SAMPLE SENTENCES

<p>婚期を逃してしまい、まだ独身だ。 <i>Konki o nogashite shimai mada dokushin da.</i></p> <p>I missed my chance at marriage and am still single.</p>	<p>橘は日本固有のかんきつ類です。 <i>Tachibana wa nihon koyū no kankitsurui desu.</i></p> <p>Tachibana is a citrus unique to Japan.</p>
---	---

<p>授業中に携帯電話を使わないよう戒めた。 <i>Jugyō-chū ni keitai denwa o tsukawanai yō imashimeta.</i></p> <p>I warned against using cell phones in class.</p>	<p>無病息災であることが一番大事だ。 <i>Mubyōsokusai de aru koto ga ichiban daiji da.</i></p> <p>Being in sound health is most important.</p>
<p>この本は、黒装束に包まれた騎士の話である。 <i>Kono hon wa kuroshōzoku ni tsutsumareta kishi no hanashi de aru.</i></p> <p>This book tells the story of a black knight.</p>	<p>水を加熱して、沸騰させる。 <i>Mizu o kanetsu shite futtō saseru.</i></p> <p>I'll boil the water by heating it.</p>
<p>迷信は科学的に証明されているんですか。 <i>Meishin wa kagakuteki ni shōmei sarete iru n desu ka?</i></p> <p>Are superstitions scientifically proven?</p>	<p>造花は枯れない点が良い。 <i>Zōka wa karenai ten ga ii.</i></p> <p>It's good that artificial flowers don't wither.</p>

GRAMMAR

Yuichi: オーディオブログ第4シーズン第24課「ひな祭り」

Jessi: こんにちは ジェシーです

Yuichi: ゆういちです。このシリーズでは、ジェシーさんと一緒に「日本の行事・祝日」を紹介しています。

Jessi: 今回紹介する日本の行事は？

Yuichi: ひな祭りです。 **Jessi:** では、聞いてみてください。

*** ブログ本文 ***

Yuichi: 今回は、ひな祭りでした。ちょっと難しい言葉がありましたね。「無病息災」。どういう意味でしょうか。

Jessi: 病気をしないで、元気でいること、健康でいること・・・ですね？

Yuichi: その通りです。「無病息災」っていうのは、四つの漢字からできている、四字熟語というものです。

Jessi: 最初の二つの漢字の「無病」は、「病気がない」・・・ですから「病気をしない」という意味ですか？

Yuichi:はい、そうです。で、後ろの「息災」は、ひとつめの漢字が「そく」で、「防ぐ」という意味です。二つ目の漢字「さい」というのは、「災害」の「さい」で、「よくないこと」という意味です。つまり「息災」というのは、「災いを防ぐこと」とか「災いが起こらないこと」という意味です。ですから、「無病息災」は、「病気をしないで、災いにもあわないこと」という意味になります。

Jessi:簡単に言えば、「健康でいること」「元気でいること」という意味ですね。

Yuichi:そうです。じゃあ、ひな祭りに話を戻しましょうか。

Jessiさんは「ひなあられ」は食べたことはありますか？

Jessi:私、何回もあります！私、大好きなんですよー。甘くて、サクサクで、すごく美味しいです。 Yuichi:甘かったですか？

Jessi:はい、そうですね。

Yuichi:じゃあ、ジェシーさんが食べたものは、関東風だったんですね～。

実は、関東と関西で「ひなあられ」って味が違うみたいなんです。

Jessi:えっ、そうなんですか？

Yuichi:僕は、関東出身なので、こうジェシーさんが食べたものと同じように、米粒を少し大きくした形のものです。甘いんです。ブログにもあったように、お米を膨らませて、それに砂糖をかけて作るんです。

けども、関西だと、甘くなくて、しょう油や塩味のものがあるみたいです。米からではなくて、お餅を油で揚げてつくるらしいんですよ。。 Jessi:へー。じゃあ地域によって違うんですね～。。

Yuichi:同じ日本なのに、おもしろいですよね。

Jessi:おもしろいですね。

Yuichi:ちなみに、ひな祭りの日に飾ってある、「ひな人形」は見たことありますか？

Jessi:はい！もちろん、あります。

Yuichi:雛人形の値段って知ってますか？

Jessi:えー。手作りだから、高そうですね。着物もsilkですし・・・。

Yuichi:実はですね、数万円のお手頃なものから高価なものになると100万円を超えるそうです。

Jessi:数万円の雛人形は安いほうなんですね～。やっぱり高い・・・。

Yuichi:だけど、女の子の孫が生まれたときに、おじいちゃんおばあちゃんがプレゼントする事が多いらしいです。なので孫のためにはお金を惜しまないおじいちゃんおばあちゃんが、まあ、多いですからね～。

Jessi:あ～だから、高くても売れるんですね～。

Yuichi:はい。あと、その雛人形の女性の顔ってというのはよく見たことありますか？

Jessi:お雛様の顔ですよ？はい。あります。

Yuichi:美人だと思いますか？

Jessi:ん～、なんか、昔でいう美人、という感じがします。

Yuichi:基本的に、雛人形の顔は平安貴族のものなんですね。つまり1000年以上前の女性の美人、というのがモデルになっていることが多いみたいです。

Jessi:だから、あんなに顔が白いんですね。それに、まゆげとかも特徴的ですよね。

Yuichi:そうなんです。今の日本人が考えるきれいな顔とは少し離れているような気がしますね。ぜひリスナーのみなさんもこの平安時代の美人の顔をチェックしてみてください。最近は、平安の女性モデルではなくて、今風の「目がぱっちりした可愛い雛人形」もあるみたいなんです。

Jessi:そうなんですか～。美の基準は時代によってかわりますからね～。

Yuichi:そうですね。人形を作る人たちも、買う人たちの嗜好・・・つまり好みに合わせて、色々がんばって工夫しているんでしょうね。それじゃあ、今日はこのへんで。

Jessi:それじゃまた。 Yuichi:さようなら。